

2023年度電子情報通信学会九州支部学生会講演会・学生ランチ講演会 2023年度 FIT Student Branch 活動報告

二又頌太, 柿本晃一, 田村俊介, 田中直, 萩原百花,
東隼也, 入江勇佑, 石橋樹, 栗谷南帆, 田中響, 尾形勇介, 橋朱羅, 松井敦朗
顧問: 中嶋徳正

・概要

今年度の FIT Student Branch(福工大)の活動について報告する。学会の枠組みを生かし個々の知見を広めることを目的とし、諸機関ご協力のもと講演会、見学会を開催した。また、学習の深化および研究室間の交流を図るため研究分野横断型のプロジェクトを発足し、ICT を活用した所在表を作成した。今後の予定として講演会を 2 回開催することとしている。

1. 運営方針

今年度については、「楽しいことをしよう」をモットーに、講演会や見学会を多数開催する方針を取った。

2. 講演会

本年度新たに福岡工業大学情報工学部情報通信工学科(以下、本学)に着任した教員を招聘し研究についてご紹介いただく講演会を 4 月および 6 月に実施した。学内外より 20 名前後の聴講者にご参加いただき質疑応答も活発に行われた(図 1)。一部 4 年生も参加し卒業研究の端緒となったほか、学外からの参加者との交流も見られ本会の設立趣旨に照らし有意義なものであったと考えている。



図 1 講演会の様子

3. 見学会

本学からほど近い福岡市東区大字奈多字小瀬抜に所在する福岡航空交通管制部および航空交通管理センターへの見学会を開催した(図 2)。これについては国土交通省航空局様、電子航法研究所様のご協力のもと開催となった。本学では電磁波応用技術という科目において航空交通管制に関する技術が紹介されている。座学で取り扱った内容について実際に目にすることで学習の深化に寄与したものと考えている。



図 2 見学会出発時の様子

4. 所在表

本学の研究室はネットワークを対象とする研究室と電波を対象とする研究室に大別されるが、兼ねてより横断的な学習を図る必要があると考えていた。そこで RFID により取得したデータを Wi-Fi を経由しネットワーク上のサーバに保存する機能を持った所在表を作成することとした(図 3)。これはある学生が所在表を光らせようと思ったことを端緒としているが、せっかくなので光るだけではなく通信機能を付けようという試みである。RFID 読み取りおよび通信、在室表示デバイスの回路設計等は電波系研究室が、通信機能およびサーバ側システム設計はネットワーク系研究室が担当し、実現した。なお、在室の有無についてはデバイス上の LED の点灯の有無で判別するほか、学内 LAN 上で Web ページにアクセスすることで確認することが出来るようになっている。



図 3 デバイスの外観とシステム画面

5. 総括および今後の展望

今年度については 4 月より活発な活動が出来たと考えている。しかし、講演会については学内の枠組の中で実施したものにとどまっている。よって、講演会については電波に関するものおよびネットワークに関するものについて学外より招聘した講演者により実施したい。現在詳細を検討している。また、所在表については一段落ついたと評価している。しかし、デバイスを無線給電化することや SQL を用いたダッシュボード拡張などは楽しそうなのでぜひ実施したいと考えている。